



社会医療法人財団 白十字会

白十字病院

Guidance

<https://www.fukuoka.hakujujikai.or.jp/>

病院のご案内

HAKUJYUJI HOSPITAL GUIDE



基本理念

患者さん・利用者さんが1日も早く
社会に復帰されることを願います。

基本方針

- ◆ 患者さん・利用者さんの権利を尊重し、快適な療養・生活環境を提供いたします。
- ◆ 地域関係機関との連携に努め、市民のニーズに合ったサービスを提供することにより、社会に貢献いたします。
- ◆ 職員の総和をもって、納得の医療・介護サービスを推進し、地域から信頼され、愛される施設を作ります。
- ◆ 最新の知見と設備を導入し、日進月歩の医療・介護に正面から取り組みます。
- ◆ 社会人として白十字会職員として、信頼される人格を持った責任ある人間を育成いたします。
- ◆ すべての職員はかけがえのない人財であり、職員にとって価値ある職場であるよう努力いたします。

病院概要

- 開院日 / 1982年2月1日 ※2021年4月1日新築移転
- 名 称 / 社会医療法人財団白十字会 白十字病院
- 所在地 / 福岡県福岡市西区石丸4丁目3-1
- 病床数 / 282床(ICU:12床、SCU:6床、一般病床:219床、地域包括ケア病床:45床)
- 主な指定など/

地域医療支援病院

地域医療において「紹介患者さんに対する医療提供、医療機器の共同利用などを通じてかかりつけ医を支援し、地域医療の質を確保する病院としてふさわしい構造設備を有する」病院のことです。白十字病院は、2012年7月27日より地域医療支援病院として福岡県から承認されました。

- ① 紹介患者に対する医療の提供
(かかりつけ医などへの患者の逆紹介もおこなう)
- ② 医療機器の共同利用の実施
- ③ 救急医療の提供
- ④ 地域の医療従事者に対する研修の実施 など

社会医療法人 (救急医療において)

基幹型臨床研修病院

内科専門医研修プログラム基幹施設

救急告示病院

へき地医療拠点病院

開放型病院

病院機能評価認定 (3rdG:Ver.3.0)



1F 正面玄関

Entrance

病院正面玄関に入ると、すぐに吹き抜けの空間が広がります。右手には受付と会計、左手には総合案内があり、患者さんをスムーズに案内できるよう工夫しております。



Lobby

1F 待合ロビー

待合ロビーは患者さんやご家族の方が心地よく過ごしていただけるよう明るく広々とした空間を設け、2階の外来フロアへつながるエスカレーターを、院内の中心に設けました。



病院長 渕野 泰秀

「医療は人」、「医療は心」

白十字病院は1982年2月1日に福岡市西区石丸の地に開設されました。開院以来、地域住民の方々、医療機関や介護・福祉施設に関わる皆様、そして、医師会、行政の方々からの温かいご支援を頂きながら、「地域の病院」として、少しずつ成長を続けていくことができています。

皆様方の支えのお陰で、2011年4月社会医療法人財団、2012年7月地域医療支援病院、2012年9月基幹型臨床研修病院、また、2021年4月より内科専門医研修プログラム基幹施設の認可を受け、我々の果たすべき社会的責務は年を追うごとに重くなっています。

白十字病院は、開設40年目を迎えた2021年4月1日に、466床のケアミックス型の病院を二つに分院し、約300m南側の地に急性期病院(282床)として新築移転しました。それまでの地には、回復期に特化した病院として、

白十字リハビリテーション病院(160床)が、分院独立しました。

超高齢化社会に向け、地域医療構想、地域包括ケアシステムが形成されていくなかで、病院には地域における役割と立ち位置をしっかりと見据え、医療機関の機能分化と連携を強化した医療を展開することが求められています。今、白十字病院が地域医療支援病院として担うべき役割は、①高度専門医療、②救急医療、③在宅療養後方支援、そして④健康なまちづくりであり、これらを大きな四本の柱と考えています。

このような役割を展開していくためには、院内では多職種協働(チーム医療)を強化し、職員一人ひとりが、お互いの専門性・職能をプロとして尊重し、より安全で質の高い医療を追求していく姿勢が肝要です。「医療は人」、「医療は心」であります。白十字病院は、これからも、“人が育つ病院”、“医療に夢を持つ者たちが活躍できる場”であり続けます。職員一同、時代の一步先を見据えた医療の実践を心がけ、地域に密着して、愛される病院づくりに邁進する所存です。

今後とも皆さまからのご支援、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

救急医療

Emergency

年間約4,500台の救急車を
受け入れ

救急センターでは、入院や緊急治療を
要する症状の重い患者さんを中心に診
療をおこなう必要があるため、救急車
の受け入れを優先しています。



時間外診療については、内科系医師1名、外科系
医師1名、研修医1～2名でおこなっております。
ただし緊急時には、当直医の判断で専門の医師を
呼びだすオンコールによるバックアップ体制を整
えています。



2024 年 4 月より、白十字病院救急外来において救急
救命士の配属を開始しました。
院内救命士は、チーム医療の一員として医師、看護師、
その他医療スタッフと協力し、迅速かつ最良な医療を提
供すべく、患者さんの一日でも早い社会復帰を目標に救
急医療の幅広い分野を担っています。

診療科

内科	肛門外科
糖尿病内科	乳腺外科
脳・血管内科	呼吸器外科
脳神経内科	心臓血管外科
腎臓内科	血管外科
人工透析内科	整形外科
肝臓・胆のう・膵臓内科	脳神経外科
消化器内科	泌尿器科
心臓血管内科	形成外科
内分泌内科	眼科
呼吸器内科	救急科
放射線科	麻酔科
総合診療科	リハビリテーション科
精神科	臨床検査科
外科	病理診断科
消化器外科	歯科
肝臓・胆のう・膵臓外科	歯科口腔外科
(計34診療科)	

専門外来

もの忘れ外来/睡眠時無呼吸症候群外来/
肺がん外来/腹膜透析外来/腎療法選択外来/
肩関節外来/膝・股関節外来/脊椎末梢神経外来/
弁膜症スクリーニング外来/ペースメーカー外来

センター

脳卒中センター
心臓・弁膜症センター
肝胆膵センター
糖尿病センター
内視鏡センター
透析センター
乳腺センター
救急センター
手術センター
高度画像センター
創傷治癒センター

(計11センター)

手術

Operation

安全で低侵襲、かつ質の高い手術を

病気になった患者さんは非常に不安だと思います。我々は手術での治療をご希望した患者さんの『気持ち』に対し、できる限りの心、技術を尽くし、医療を提供していきます。

手術支援ロボット(ダビンチ)

低侵襲かつ高精度な手術を実現し、患者さんの回復促進や医師の負担軽減に寄与する手術支援ロボットを2024年に導入し、外科、泌尿器科で使用しています。



泌尿器科：ロボット支援前立腺全摘除術



心臓血管外科

ORBEYEを使用したMICS手術

ORBEYEを使用したMICS手術(低侵襲心臓手術)は、胸骨を大きく切開せず、小さな切開で心臓弁膜症手術をおこなうことです。4K3Dデジタル顕微鏡であるORBEYEにより、狭い術野でも高精細な立体視が可能となり、弁形成や冠動脈バイパス手術などの精度向上に貢献します。術者はモニターを見ながら自然な姿勢で手術ができるため負担が軽減され、チーム全体で視野を共有できる点も大きな利点です。これにより、安全で精密かつ緻密なMICS手術が実現されます。



ハイブリット手術室

手術台に据置型の血管X線装置を組み合わせた、外科的な手術と血管内治療を複合的に行える手術室です。脳血管内治療やステントグラフト内挿術などの高度な医療技術に対応します。



脳血管内治療

カテーテルやコイル、ステントなどの様々な治療器具を使い、脳動脈瘤、頸動脈狭窄、急性期脳梗塞、脳血管奇形といった脳の病気を、血管の中から治療する方法です。開頭手術とは違って、頭や首を切開することがないので、患者さんへの侵襲(負担)が少ない治療です。



ステントグラフト内挿術

血管内にステントグラフトと呼ばれる金属製または合成のチューブを挿入する手術です。この手術は主に大動脈瘤の修復や動脈瘤の治療に使用され、伝統的な開腹手術よりも侵襲性が低く、回復が速いとされています。(兎径部に約1cmの傷で手術が可能)

検査

Inspection

早期発見、細部まで見逃さない、最新鋭の機器を揃えてます

心臓カテーテル装置をはじめ、専門的な治療をおこなうため最新の医療機器を使用し、治療いたします。



心臓カテーテル検査

心臓カテーテル検査とは、カテーテルという細いチューブを足の付け根あるいは手首・肘などの血管から挿入し先端を冠動脈に到達させ、そこから造影剤を注入することで、冠動脈の形態や心臓内腔の血行動態を評価する検査です。



◆ 320列 X線CT検査(コンピュータ断層撮影) ◆

2021年より、少ない被ばくで多断面を撮影できるCanon社製の最新鋭マルチスライスCT装置「Aquilion ONE 320列」、2022年より、世界で初めて「Aquilion Serve 80列」を導入しています。

◆ 3.0T MRI検査(磁気共鳴撮像法) ◆

MRI(磁気共鳴撮像法)とは、強い磁石と電波を利用して色々な方向からの断層像を撮像する検査です。高画質画像かつ短時間での撮影が可能となる、フィリップス社 Ingenia3.0TのMRI装置を導入しています。

◆ 内視鏡検査 ◆

内視鏡機器には最新鋭のオリンパス社製を導入しており、専任の医師、スタッフにより精密な検査と治療をおこなっております。

※上記は検査機器等の一部です。他にも治療に応じた機器を取り揃えております。



病棟

デザインが特徴的な『ダンベル型病棟』を4階・5階・6階の3フロアに設けました。患者さんのケアや見守りを最優先に、スタッフステーションを病室群の中心に配置することで、病棟全体を見渡すことを可能としています。

リハビリテーション

Rehabilitation

一日も早い社会復帰を支援します

入院早期より、病気や怪我に伴う障害を最小限にとどめ、患者さんが望まれる生活を可能な限り実現することを目的にリハビリテーションをおこないます。



入院

Hospitalization

快適な療養環境を提供し、患者さんの社会復帰をお手伝いします



理学療法(歩行訓練)

病気や怪我に伴い動かしにくくなった身体の動きを、運動や治療機器を用いて回復するお手伝いをします。



作業療法(更衣訓練)

患者さんが望まれる生活の実現に向け、これまでの生活や趣味、性格などあらゆる情報を踏まえ、必要な作業活動をおこないます。



言語聴覚療法(食事訓練)

脳卒中に伴う、言語機能の低下および高次脳機能障害や嚥下機能障害に対する訓練および代替手段の提案を行います。



入院前の不安や要望をお聞きます。お困りのことがございましたら、お声かけください。



HAL® (Hybrid Assistive Limb®)

HAL®とは身体機能を改善・補助・拡張・再生することができる、世界初の装着型サイボーグです。HAL®の専門知識を持つ経験豊富な医師、リハビリテーションスタッフらの専門チームにより、障害部分に応じて最も効果が期待されるHAL®を用いて集中的にリハビリテーションを実施します。

CTU (Cybernetics Treatment Unit)

当院は、脳卒中により片麻痺や運動失調に対して様々なタイプのHAL®を使用してリハビリテーションを行う専門治療室を設けています。集中的なリハビリにより、患者さんのQOL(生活の質)向上が期待されます。



医師

安心して治療を受けていただけるよう、親切丁寧な説明を心がけています。また、一人一人に適した治療をおこない、最善の治療を提供いたします。



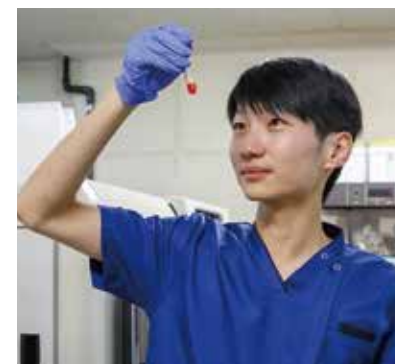
看護師

「やさしさと思いやりをもって患者さんの社会復帰のお手伝いをします」という理念のもと、「診療の補助」「療養上の世話」を通して、病気やけがで身体や心の健康上の様々な問題を抱えながら生活する人々を支えています。



理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

病気や怪けによる機能・能力の低下に対して、維持・改善を目的にリハビリテーションを開始し、患者さんの早期社会復帰を支援します。



臨床検査技師

患者さんの一日も早い社会復帰のために、正確かつ迅速な検査結果・情報を提供し、医療チームの一員として24時間体制で業務にあたっています。



臨床工学技士

高度な臨床知識を持ち、医療機器の操作を担当しています。24時間365日体制で地域医療を支え、他職種と連携し、チーム医療を実現する重要な役割を担っています。



診療看護師(NP)

診療看護師(NP)とは、医師サイドにたった診療を一定の制限でおこなえる看護師です。医師やコメディカルとの架け橋としての役割を担っています。



救急救命士

チーム医療の一員として医師やコメディカルと協力し、迅速かつ最良な医療を提供すべく、患者さんの一日でも早い社会復帰を目標に救急医療の幅広い分野を担っています。



薬剤師

調剤、医薬品の供給や病棟・外来での薬剤管理指導、副作用モニタリング等を通して、医薬品の適正使用を支援しています。またチーム医療にも積極的に参加し、様々な領域で薬剤師としての職能を発揮しています。



事務

受付・会計時の患者さんやご家族への対応、診療報酬請求、医師の作業補助など多様な業務を担当し、医療スタッフと連携して病院の円滑な運営を支えています。



視能訓練士

眼科診療におけるチーム医療の一員として、患者さんの眼の健康を守るため眼科検査や、視覚障害によって日常生活が困難な方への支援(ロービジョンケア)等の業務をおこなっています。



歯科衛生士

患者さんの健康維持や機能回復に取り組んでいます。入院から退院までの口腔機能管理を主に、歯および口腔疾患の予防処置や口腔ケア・摂食嚥下等のケアをおこなっています。



診療放射線技師

放射線科医師・外来看護師と連携をとって、単純X線撮影・CT検査・MRI検査・造影透視検査・マンモグラフィ・血管造影検査・心臓カテーテル検査・RI検査など様々な検査や撮影をおこなっています。



管理栄養士

医師の指示のもと、疾患別に多種多様な食事を管理し、安全でより質の高い食事が提供できるよう、日々努力しています。また集団栄養指導や入院・外来患者さんへの個人栄養指導などもおこなっています。



医療ソーシャルワーカー(医療相談員)

患者さんやご家族が安心して入院・治療・退院後の生活を送ることができるよう、福祉の立場からご支援します。1階には相談窓口もあり、外来の方や地域住民の方にも開かれた相談窓口として対応しています。



外来アシスタント

外来受付業務、診察室での診療介助をしています。医師・看護師の作業補助を担い、外来患者さんの検査や診察がスムーズに流れるようお手伝いをしています。少しでも患者さんの不安が和らぐよう笑顔で貢献しています。



病棟クーク

電話・面会の対応、各種書類・備品の管理、カルテ整理、など病棟の事務的な補助をおこなっています。病棟の業務を支える重要な役割を担っています。



ケアスタッフ

看護補助者として、患者さんの日常生活の援助、移送、環境整備をおこなっています。快適な入院生活を送るため患者さんに寄り添い、一番近い存在として支えています。

在宅サービス

Home care

患者さんご家族の方に
安心していただけるように

病院での入院治療やリハビリテーションを“卒業”された方が、安心してご自宅で生活できるようお手伝いをさせていただきます。ケアマネージャーや訪問看護介護、デイサービス、そして住宅型有料老人ホームなどの在宅サービスを提供しています。

地域医療
救急医療
白十字病院

回復期
白十字リハビリテーション病院

生活期
在宅事業部

患者さんの様々なニーズに対応できるよう、
トライアングル連携で地域のみなさまを見守ります

退院にあたりこんな不安や心配事はありませんか？

- 退院して、前のように生活できるか不安。他の人はどうやって生活しているの？
- 退院後の体調の変化が心配。看護師さんに様子を見に来てもらったり、相談したいけどどうしたら良いの？ヘルパーさんに来てもらいたいけどどうしたら来てもらえるの？
- デイサービスやデイケアに行きたいけどどうしたら行けるの？
- ベッドや車いすなど借りたいけどどうしたら良いの？
- 自宅玄関やトイレ浴室に手すりをつけたいけどどうしたら良いの？
- 家族に迷惑をかけずに生活しようと思っている。どうしたら良いの？
- 退院してすぐ自宅に帰るのは不安。もう少しリハビリをして帰りたいけどどうしたら良いの？

該当する箇所がありましたら、職員にご相談ください。



白十字病院

地域の急性期ニーズに対応する282床の地域医療支援病院。高度で低侵襲の医療を提供し、①高度専門医療②救急医療③在宅療養後方支援④健康なまちづくりを四本の柱としています。



白十字リハビリテーション病院

急性期後、日常生活を送ることが困難になった方に対し、在宅や社会復帰を目的としたリハビリテーションを積極的に行っていく160床のリハビリテーション専門病院です。



居宅介護支援
白十字会ケアプランセンター福岡

■ケアプランの作成
■介護サービスの調整・連絡
介護を必要とする方の計画書(ケアプラン)を立て、必要なサービスが受けられるように手配し、連絡調整をします。



住宅型有料老人ホーム
ドリームステイはばたき

■全室個室18室 ■食事提供・安否確認
自宅での生活に近い居宅施設です。入居中に訪問介護などのサービスを利用することができます。



看護小規模多機能ホーム
ずっと一緒に

■通い・泊まり・訪問介護・訪問看護
看護と介護を一体的に提供するサービスです。



連携して地域のみなさまを見守ります



短期入所生活介護
白十字会ショートステイ福岡

■短期間の入所を受入れ
入浴や食事などの日常生活上の支援、機能訓練を提供します



訪問看護
訪問看護ステーション白十字

■看護師による訪問
看護師が自宅に伺い健康チェックや療養指導などを行います。



パワーリハビリ
通所リハビリテーション

■リハビリテーションの提供
生活の基盤となる筋力・体力の改善のため、集団起立運動やマシントレーニングを基本とした運動を提供しています。



認知症対応型通所介護
ドリームケア石丸

■認知症対応型通所介護サービス
認知症の方専門のデイサービスです。少人数で一ひとりに合ったケアを提供します。

地域への取り組み

白十字会では、医療・介護サービスの提供にとどまらず、地域や社会に向けたさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

いきいきホール



いきいきホール(約120人収容)は、地域の方々がアクセスしやすいよう1階のエントランス近くに設け、地域との交流が促進できるよう開放しています。各種交流や市民講座などの催し物を通して交流をはかり、人々との繋がりを大切にします。市民講座などでは当院の専門知識や専門スタッフを地域に還元し、人々の健康づくりをサポートする体制を実現します。

災害拠点として

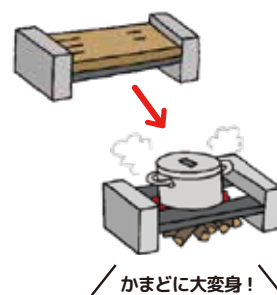


- 駐車場はトリアージスペースへ
- 当院が持つ非常用設備を展開
- フィットネス広場を防災広場へ
- 水害時に立体駐車場の開放 など

トイレとして利用できる
マンホール



釜戸として利用できる
ベンチ



※イメージ図

地域交流サロン『いしまるしえ』



2022年開設

地域の人々が自由に集えるコミュニティサロンを設置。サロンは地域の方々の集会所のような機能も担います。例えば、認知症患者が増加する中、「住み慣れた地域で自助、互助ができるまちづくり」を目指し、コグニサイズ(認知症予防体操)などをおこない、地域ぐるみで認知症予防に取り組めます。その他、教室・講演会・情報発信の場として利用できます。



TFT (TABLE FOR TWO)

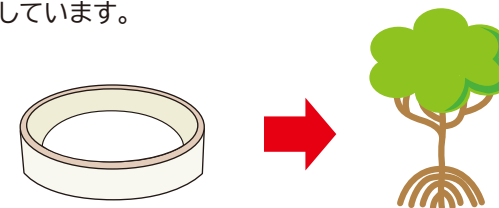


指定されたメニューをご購入いただくと、その売り上げの一部(1食あたり20円)が開発途上国の支援目的としてNPO法人TABLE FOR TWOへ寄付されます。この寄付金は開発途上国の子供たちの給食1食分となり、子供たちが学校で教育を受ける原動力となります。

ECOプロジェクト参加

《テープ巻き芯回収サイクル》

セロハンテープや医療用テープの巻き芯を株式会社ニチバンに送付し、ダンボールにリサイクル、またマングローブの植樹活動に役立てられるというECOプロジェクトに参加しています。



SDGs取り組み



市民の「健康を守り」「介護負担を軽減し」持続可能な社会を作ること、職員の雇用を守り、働きがいのある職場を作ることに取り組んでいます。

その他

- エコウォーキング
- 院外ボランティア講座(出前講座)
- 地区行事への救護チーム派遣
(福岡マラソンや体育祭などでの救護活動など)
- 地域夏祭りの参加
- 近隣学校への講師派遣
- キッズ医療体験



院外ボランティア講座(出前講座)



キッズ医療体験

※写真はイメージです

福利厚生

充実した福利厚生で職員が安心して長く働ける環境づくりを目指しています。

1 資格取得奨励支援制度

この制度は、各職種に関係する資格を取得する際に、白十字会に勤務する職員が自ら職能の向上を目指し学習・研鑽する意欲を奨励・支援する制度です。

2 提案制度

この制度は、職員からの業務改善やコスト削減などの提案を奨励して、その提案を積極的に採用し表彰することを定めた規定です。

3 法人内認定制度(看護部)

この制度は、特定の看護分野において、熟練した看護技術と専門知識を有し、水準の高い看護が実践できる看護師を法人が認定する制度のことで。

4 FLY規定

FLY 規定とは、職員が白十字会グループ内の施設を利用する際に、割引や還付などを受けられる制度のことです。

5 観戦チケット抽選

野球やサッカー観戦チケット(指定席・自由席)の抽選をおこなっています。また、割引券・優待券などの抽選もあります。

6 法人内保育施設「ピュアキッズ」

職員専用の保育施設「ピュアキッズ」。0歳から就学前のお子様を安心して預けることができます。 ※日・祝日休み



上記以外にも、職員へ働きやすい環境を提供しています。



社会医療法人財団 白十字会

白十字病院

〒819-8511 福岡県福岡市西区石丸4-3-1

TEL:092-891-2511 (代表)

FAX:092-881-4491 (代表)



<https://www.fukuoka.hakujujikai.or.jp/>



2021年6月 発行
2025年4月 改訂